

多様な個性が交差する デニムが紡ぐアート展 『SETO INLAND LINK』

2023年10月7日(土)～9日(月・祝) 岡山県倉敷市 美観地区にて開催

小学生から世界で活躍するアーティストまで参加！
総額 1500万円を超えるヴィンテージデニムの展示も！！

SETO INLAND LINK



癒toRi18株式会社（代表：畝尾賢一、本社：岡山県倉敷市、以下：癒toRi18）とSETO INLAND LINK実行委員会は、2023年10月7日(土)～9日(月・祝)に岡山県倉敷市美観地区にて、デニムにまつわるアート作品を展示した展覧会『SETO INLAND LINK（セト インランドリンク）』を開催いたします。

■人気アーティストも参加 多様な個性を活かした作品群

SETO INLAND LINKのコンセプトは『“デニム”が紡ぐ多様な個性』。着用者が使い込むことでそれぞれ違った風合いや表情を生み出し、その色濃く反映される個性を「味わい」として歓迎してきたデニム。そのユニークな素材を使って、世界で注目されているアーティストやクリエイター、デニム職人、岡山県内の専門学生、放課後等デイサービスに通う小学生児童等が参加し作品を発表します。多様な個性を活かした作品は、美観地区内にある3つの会場（児島虎次郎記念館、旅館くらしき、倉敷物語館）に展示予定。作品制作に使用される素材は、癒toRi18を含む児島に拠点を構える3社のデニム製造関連会社が保有する、商品製造の際に発生する残反を主に活用いたします。

また、近年取引価格が急激に上昇し、投資対象としても注目されているヴィンテージデニム。今回、会場には1着700万円を超える商品を含む、総額1500万円以上のヴィンテージデニムも展示される予定です。

■デニム作りはクリエイティブだ！ デニム産業の新たな可能性の提示と地域活性化への取り組み

本展覧会を開催することとなった背景には、デニム産業全体の価値を上げ、地域を活性化させたいという思いがあります。国内はもちろん、世界のデニム産業の中心地として知られる児島ですが、職人の高齢化と次世代の担い手不足による後継者問題が課題となっています。グローバル市場での激しい価格競争による労働コストの削減や、手間のかかる繊細な作業が多い労働環境などから若い世代の業界への関心が低く、技術や知識の継承が活発に行われていません。地域の経済、文化の要であるデニム産業に興味を持ってもらい次の世代を育成していくためには、デニムの価値を再定義し昇華させる取り組みが不可欠と考えます。デニムを工業製品としてではなく、クリエイティブで美術的な作品として光をあてることで、新たな魅力と可能性を提示し、業界へ興味を持ってもらいたい。そして、クリエイティブマインドを持った人や企業が児島のデニム産業に参画してくれることで、より創造的で豊かな地域産業の発展を図っていけないのではないかという考えから、SETO INLAND LINKは企画されました。

■伝統的な景観を誇る会場と革新的なアートの融合

会場がある美観地区は、江戸時代から大正・昭和建物や景観が残る地域であり、国の重要伝統的建造物群保存地区にも指定されています。100年愛されたモダンな銀行建築を再生した「児島虎次郎記念館」、伝統建築の静かな佇まいに癒される「旅館くらしき」、江戸時代の名家を改装した美しい長屋門が魅力の「倉敷物語館」。それぞれの会場が保有する伝統的で美しい建築様式と、革新的なアート作品の融合による、非日常的な空間もお楽しみいただけます。

この展覧会をきっかけに、人と人、人とモノ、人と企業など、デニムを通じて様々なLINK（繋がり）が生まれることで、新たな未来が広がっていくことを願っています。是非、皆様で新しい可能性を見つけに来てください。

EXHIBITION- 1 : ヴィンテージ×リプロダクト

ヴィンテージデニムアドバイザー藤原裕が選定した総額1500万円を超えるヴィンテージデニムと、デニム製造加工会社 癒toRi18の職人達によりそれらを再現したリプロダクトデニムの展示。それぞれのヴィンテージデニムの特徴を再現する為のノウハウやテクニックも特別公開。また、藤原氏と親交が深く、自身もヴィンテージデニムコレクターとしても知られる今市隆二（三代目 J SOUL BROTHERS）氏の所有するヴィンテージデニムも展示予定。会場：児島虎次郎記念館



1着700万円のデニムジャケット



藤原 裕 | フジハラ ユタカ

原宿の老舗古着屋「BerBerJin(ベルベルジン)」ディレクター。店頭に立ちながらも、ヴィンテージデニムアドバイザーとして多岐にわたりデニム産業全般に携わる。コアなマニアからの信頼も厚い、近年ヴィンテージブームの立役者。自身が配信するYoutubeの総再生回数は480万回を超える。 <https://youtube.com/c/v-d-a-f-501xx>



今市 隆二 | イマイチ リュウジ

三代目 J SOUL BROTHERSのボーカルを務める一方、2018年1月からソロプロジェクトを始動。オリジナルアパレルブランド「RILY」も展開している。ファッション誌で自身のヴィンテージデニムの連載企画も掲載されるなど、ヴィンテージデニム好きとしても知られている。 <https://www.idh.co.jp/management/imaichi/>

EXHIBITION- 2 : デニム×人との距離感

韓国出身の男性ダンスヴォーカルグループ SUPERNOVA（超新星）のゴニルによる新作のエキシビション。会場：旅館くらしき



GEONIL | ゴニル

韓国の男性ダンスヴォーカルグループ "SUPERNOVA（超新星）"として活動する他、ドラマ・ミュージカル等の俳優活動や、アート制作にも精力的に取り組んでいる。2014年秋に念願の個展を開催し3日間で約3千人が訪れ、新たな魅力を披露している。2023年春には代官山蔦書屋で13日間にわたり「PARK GEONIL EXHIBITION」を開催。同時に行われたTALK EVENTもチケット即完売と話題を集めた。

EXHIBITION- 3 : 社会の課題×アートの力

企画制作：亜洲中西屋(ASHU)

作品の制作や活動を通して、社会課題と向き合っているアーティスト2名による作品展示。作品に使用する素材は参加企業の商品製造過程で生まれた廃材を主に使用。 展示会場：倉敷物語館

LINK-1 : 大切な人のための服を作ろう！

放課後等デイサービス「パントーン・フューチャー・スクール」に通う小学2年生から5年生の児童8名と、精神科の看護師としての経験を持つアーティスト津野青嵐による『大切な人のために作る服』をテーマにした合同作品。子ども達が思い浮かべる、お母さん、アイドル、ペットのカメなど様々な大切な人に着てもらいたい服を、子ども達の「やってみたい！」という気持ちを大切に、共に探求しながら作品を制作。今回の展示では、子ども達が作った服を着た「大切に想われている人達」が集う様子を、作品の制作空間の再現とともに表現。



Photo:Anne Yano



Courtesy of International Talent Support



LINK-2 : 赤い襦袢

デニムの廃材などを加工した赤い襦袢（ぼろ）のドレスを制作。手元に十分な資源がない時代に、人々が破れた布を丁寧に補修、加工するなどし大切に着用していた襦袢。歴史的に青い色ばかりだったこの衣服を赤色で染めた布を使うことで、“晴れ着”として再創造し「現代の襦袢」として表現。



photo:Kohei Shikama

津野 青嵐 | ツノ セイラン

1990年生まれ。看護大学を卒業後、精神科病院で約5年間勤務。病院勤務と並行して「coconogacco（このがっこう）」で学ぶ。2018年、欧州最大のファッションコンペティション“International Talent Support”にて日本人唯一のファイナリストに選出され、3Dペンで作った服が注目される。2019年10月より“当事者研究”発祥の地である北海道“浦河べてるの家”（精神障害当事者等の地域活動拠点）へ勤務。2021年10月より東京工業大学修士課程入学。伊藤亜紗教授の研究室で学びながら、「ファット」な身体との付き合い方を、衣服の共同制作を通して研究中。 <https://www.instagram.com/seirantsuno/>

パントーン・フューチャー・スクール

発達に遅れや不安のある小学生から高校生までのお子さんを対象とした、放課後等デイサービス。子どもたちひとり一人の『できる』を育み、そして伸ばしていくことを願いとしている。経験や交流を通じて将来の自立や就労に向けたステップアップに繋げていけるような環境を提供。 <http://pantone-fs.com/>



八木 華 | ヤギ ハナ

1999年東京都生まれ。都立総合芸術高校卒業後、「coconogacco（このがっこう）」で学ぶ。2017年、新人ファッションデザイナーの登竜門・装苑賞ファイナリスト選出。2018年、第19回グラフィック「1_WALL」審査員奨励賞（保坂健二朗選）を受賞する。2019年、欧州最大のファッションコンペティション

“International Talent Support”（通称ITS）ファッション部門のファイナリストに最年少19歳で選出。主な展覧会「fragments」（2021年/art space traffic [東京・自由が丘]）、「seam」（2021年/I SEE ALL [大阪・船場]）など。 <https://www.instagram.com/hannah.yagi/>

EXHIBITION-4 : デニム職人の技術力 × 学生の表現力



児島に拠点を構えるデニム製造加工会社3社と、岡山県内の学校3校をそれぞれマッチング。職人が誇る技術を学んだ学生が、その技術を用いて新たなデザインを生み出し作品を制作。作品に使用する素材は参加加工会社の商品製造過程で生まれた廃材を主に使用。

展示会場：倉敷物語館
生地/技術提供：癒toRi18株式会社、株式会社WHOVAL、美東有限会社
デザイン：倉敷市立短期大学、倉敷ファッションカレッジ、中国デザイン専門学校

ONLINE EXHIBITION : KURASHIKI TOUR by POGGY

セレクトショップのディレクターやバイヤーとして国内外で様々な価値あるものに触れてきた、今はファッションキュレーターとして活動している小木"Poggy"基史。彼が選定した、世界に発信すべき倉敷の魅力的なモノや場所、コトを紹介したムービープログラム。オフィシャルホームページでの公開。



小木"Poggy"基史 | コギ ポギー モトフミ

ファッションキュレーター。1997年、ユナイテッドアローズに入社。2006年にリカー、ウーマン&ティアーズ、2010年にユナイテッドアローズ&サンズを立ち上げる。2018年に独立。渋谷パルコ内の2Gのファッションキュレーターや、Levis® Made&Crafted® × POGGYTHEMANコレクション、JIMMY CHOO / ERIC HAZE curated by POGGYコレクションを世界で発売するなど、活動は多岐に渡る。

WORKSHOP : みんなで紡ぐデニムのアート



アダストリアが運営する岡山県内全店舗（12ブランド18店舗）にて、来店されたお客様とショップスタッフが参加し、色とりどりのリボンに生まれ変わった残反をデニムのキャンバスに結びつけ作品にしていく、大人から子どもまで参加できるアートワークショップを開催中。展覧会当日は倉敷物語館に制作中の作品を移動し、SETO INLAND LINKに来場されたお客様と共に作品を完成させる。

ADASTRIA | アダストリア

ADASTRIA

株式会社アダストリアは、「グローバルワーク」「ニコアンド」「ローリーズファーム」など、グループで30を超えるブランドを国内外で約1,400店舗展開するカジュアルファッション専門チェーン。2023年に創業70周年を迎え、「Play fashion!」のミッションのもと、人と情報が行き交うオープンなコミュニティをつくり、新たな価値を生み出す「グッドコミュニティ共創カンパニー」となることを目指している。<http://www.adastria.co.jp/>

■主催者からのメッセージ

私達は、デニム加工はアーティストが白キャンバスに絵を描くのと同じ、クリエイティブな活動であると考えています。児島のデニム加工の魅力は技術力が取り上げられることが多いですが、その本質にあるのは、職人達の多様な個性が生み出すアイデアと表現力。その魅力に焦点を当て発信することで、その価値に共感するクリエイティブマインドのある次世代の担い手にデニム産業に興味をもってもらいたい。そして彼らと共に、倉敷・児島のデニム産業を更に発展させ、「個性」と「多様性」がもたらす、創造的で豊かな地域づくりに貢献していきたいと考えています。お互いの個性を応援する事。それこそが、地域に新しい可能性を生み出す力です。SETO INLAND LINKが他者の個性に気づき、理解するきっかけとなるように。



畝尾 賢一 | ウネオ ケンイチ

癒toRi18(株) 代表取締役 兼 放課後等デイサービス パントーン・フューチャー・スクール代表。1982年生まれ、岡山県倉敷市出身。高校卒業後、様々な仕事を転々とする中で繊維加工の分野と出会う。その後、若い人たちがチャレンジできる環境を作りたいとの想いから独立。デニム加工だけに留まらず、その技術を活かし、若い人も夢を抱けるような児島発新しいプロジェクトの可能性を日々模索中。5児の父。

■主催：癒toRi18株式会社について

2003年に創業し2004年より岡山・児島にてデニム加工場を構える。2008年 癒toRi18株式会社創立。加工はすべて手作業で、ヤスリ・塩素・顔料・ミン等、多様な手法を用いて生み出される高品質な作品が、国内外の幅広いお客様に喜ばれている。癒toRi18には、30代をメインに下は10代から上は60代まで多様な魅力を持つ50名のスタッフが在籍。伝統的な技術と豊かな創造性を持ち合わせた彼らは、デニム加工を工業製品を作る作業としてではなく作品作りと捉え、それぞれが自らの感性を活かし伸び伸びとモノ作りに打ち込んでいる。その品質が評価され、取引ブランド数は150前後、年間の加工本数は約15万本。2024年には、環境問題にも配慮した機械を導入し第2工場を設立予定。

<開催概要> SETO INLAND LINK

名称：SETO INLAND LINK (セトインランドリンク)
日時：2023年10月7日(土)～9日(月・祝)
時間：7日(土) 8日(日) 9:30～20:00 ※旅館くらしき19時まで
9日(月・祝) 9:30～19:00
会場：児島虎次郎記念館、旅館くらしき、倉敷物語館
URL：<https://s-inlink.com/>
Instagram：<https://www.instagram.com/setoinlandlink/>
入場料：無料

主催：癒toRi18株式会社 (ユトリイチハチカブシキガイシャ)
共催：ARIKA株式会社、株式会社BerBerJin、美東有限会社、株式会社WHOVAL
後援：倉敷市
協力：旅館くらしき、中国デザイン専門学校、倉敷ファッションカレッジ、倉敷市立短期大学、株式会社アダストリア、パントーン・フューチャー・スクール
演出/制作：ourness
展示企画：亜洲中西屋 (ASHU)

※お車でのご越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

<展覧会に関するお問い合わせ>

SETO INLAND LINK実行委員会 MAIL：info@s-inlink.com

<取材・掲載に関するお問い合わせ>

株式会社ワンオー/PR01. 担当：坂本
MAIL：sakamoto@one-o.com TEL：03-5774-1420



児島虎次郎記念館
岡山県倉敷市本町3-1



旅館くらしき
岡山県倉敷市本町4-1



倉敷物語館
岡山県倉敷市阿知2-23-18